

シー・エス  
**C・S みやいけ**

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



6年生を送る会

## 大変な年度末になりました ～ 臨時休業中 ～



春休みまで休校になってしまいました

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日から市内全校で臨時休業になっています。今後の状態が見えない中、誰もが不安を感じているところですが、半田市長さんがおっしゃるとおり、「今が正念場・・・決してあなどらず、しかし、過剰に恐れず、情報を選び、一人ひとりが落ち着いて冷静に行動・・・」を心掛

けねばならない時だと思えます。

前号で、3学期は、本年度の締めくくりと新年度への新たな夢や希望を少しずつ膨らませていく時期だと書きました。このことは、学校が休業中でも、できることです。児童の皆さんは、「今の自分」は、これまでの積み重ねの自分であること、そして、将来へつながっていく自分であることを自覚して、令和元年度を振り返り、令和2年度へ思いをはせてほしいと思えます。

## 第3回学校運営協議会・第2回応援団会議を開催(2月25日)

10月24日(木)開催の第2回学校運営協議会以降の活動経過、令和元年度の学校評価、令和2年度の学校運営基本方針・重点努力目標、令和2年度学校運営協議会の取組事項、宮池小応援団の活動などについて意見交換しました。

主な内容は、次のとおりです。



応援団会議

### 1 活動経過について

- (1) 児童会から提案された「台風19号義援金募金活動」や「あいさつゴンゴン運動」に、児童会・PTA・応援団・先生方が一緒に取り組みました。募金は、たくさんの皆さんのご協力により95,443円集まり、半田市役所を通じて現地へ届けられました。

- (2) 毎週火曜日開催の「CSサロン」は11回を数えました。都合のつく委員が無理のない範囲で参加し気軽に話し合う中で、学校との情報交換が密になり日常的なニーズに対する取組について話し合うことができました。
- (3) 12月17日(火)に、「コミュニティスクールによる子ども・若者への支援体制の整備」をテーマに、本年度3回目の「CSサロン学習会」を開催しました。来年度以降の活動につながる課題が明確になりました。
- (4) コミュニティ・スクール通信「C・Sみやいけ」をNo5～No7まで発行しました。HP「コミュニティスクール」も4,200件を超えました。

## 2 協議事項について

- (1) 令和元年度の教育活動に対する児童と保護者の「学校評価アンケート」の結果について話し合いました。

アンケート項目の中の「わたしは、しょうらのゆめにむかってどりよくしている」(児童向け)・「子どもは、将来の夢に向かって努力している」(保護者向け)に対する肯定的な回答は、児童の86%に対して、保護者は69%でした。この結果を聞いて、親が思っている以上に、子どもたちは、自分の将来像を思い描いているのではないかと思いました。

もっともっと、家庭で、「将来の夢は?」とか「大きくなったら何になりたい?」などといった話題が増えるといいなと思いました。

- (2) 令和2年度の「学校運営基本方針・重点努力目標」について、校長先生から、『熱く 激しく そして愛(愛・思いやりの心をもって一生懸命)』を合言葉に、『かわりを大切にする子』『自ら学び、考える子』『たくましく生きる子』の育成に力を注ぎ、子どもたちの成長していく姿を通して、信頼される学校づくりを目指したい!』との決意が述べられました。校長先生は、教員になって34年、赴任した学校ですっとこの合言葉を子どもたちに投げ掛けてきました。その熱い思いに、令和2年度の学校運営基本方針案は、全員一致で承認されました。

- (3) 令和2年度の学校運営協議会の取組について、杉本会長から「コミュニティ・スクールによる子ども・若者への支援体制の整備」に取り組んでいきたいとの提案がされました。本年度、教育委員会や半田市社会福祉協議会、民生児童委員協議会の方々とともに、子どもや家庭、地域を取り巻く現状について話し合ってきました。

不登校や貧困問題、ニート、子育てに対する負担感や不安を抱える親など、個別の支援を必要とするケースが増加している状況に対して、地

域の関係機関と連携し、できる範囲で、何らかの取組を進めていきたいとの思いです。具体的な取組が固まりましたら、多くの皆様の力をお貸しいただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

## 1年間の応援、ありがとうございました

新1年生の下校サポートから始まり、3年生の探検隊サポート、なわとび練習台補修、ふれあいバザーサポート、台風19号募金活動、環境整備等々…、子どもたちの応援団活動にご協力いただいた方は、のべ750名(実人数143名)にもなります。



1年生下校サポート

今年度、児童会との懇談会を開催し、子どもたちが地域に何を求めているかを話し合いました。これまで、学校・PTA・学校運営協議会・応援団など、大人同士の話し合いの機会は多々ありましたが、子どもたちの声を直に聴く機会はありませんでした。子どもたちの思いを大切にして、教職員とPTAと地域住民が一体となって活動できたことで、子どもたちは「地域全体が学びの場」であることを意識するようになり、私たち地域住民は「子どもたちとの触れ合いこそ元気の源」と感じるようになってきました。



なわとび練習台

今年度からスタートした国の制度である「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」は、平成24年度から取り組んできた半田市独自の制度である「学校運営支援協議会制度」をベースにしています。かれこれ8年を経過しつつも、まだまだ認知度は決して高いとは言えませんが、それでも、わずかずつですが、学校と家庭と地域のつながりが徐々に拡がりつつあるように感じています。そう感じられるのは、これまでの積み重ねによるものだと思っています。



あいさつゴンゴン運動

今後も、学校と家庭と地域社会の連携・協力を大切にして、子どもたちの健やかな成長のために活動していけたらと思います。変わらぬご支援をお願いいたします。1年間のご協力に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

〈令和元年度 学校運営協議会委員一同〉